

グレモン電気錠ALGR50錠取扱説明書

①内 部 回 路 及び 電気仕様

コネクター リセプ プラグ側 タクル側 SOL 橙 M.SW1 M.SW2

名 称		定 格		
ソレノイド	電 圧	電 流	通電時間 通電率 連続]	
(施錠動作)	DC24V (±20%)	0.3A (±20%)		
マイクロスイッチ (ロッド出入信号)	電 圧	電 流	有効チリ寸法	
	DC24V	2mA~100mA	12mm以内	
マイクロスイッチ (施解錠信号)	電 圧	電 流	非常解錠信号も	
	DC24V	2mA~100mA	左記に準ずる	

SOL ……施錠ソレノイド

M.SW1……ロッドバー出入信号用マイクロスイッチ

M.SW2……施解錠信号用マイクロスイッチ M.SW3……非常解錠用マイクロスイッチ

′本図は、解錠・ロッドバー引き込み・ 非常解錠をしない状態を示す。

M.SW3

②操

施

a) 通電時施錠 —

ハンドルが固定され 入室できない。

a) 通電時キー(サムターン)による解錠

イ) キーをシリンダーに差し込み (サムターンを) 扉の吊元側

(回せる方向) に回す。 ——

b) 電気的な操作による解錠

イ)操作盤の解錠押釦を瞬時押す。(ソレノイドへの通電を断つ) -

ハンドルを回して 扉を開ける。

c) ALGREのとき、非常解錠押釦を押す。——

(注) 1. 施錠するときハンドルは最後まで回してください。ハンドルが途

中で止まっていると施錠できません。

2. 停電時は、解錠状態になります。

3. 通電時キーまたはサムターンで解錠をしても、レバーハンドル

を回さなかった場合は解錠のままです。

③確認機能

ロッドバー出入確認

a) 扉を閉めハンドルを回してロッドバー及びデッドボルト を突出させると錠ケース内のマイクロスイッチのA接点 が閉じる。

b) ハンドルを回してロッドバー及びデッドボルトを引っ込 -めると錠ケース内のマイクロスイッチのA接点が開く。

施解錠確認

a) 解錠状態では、錠ケース内のマイクロスイッチのB接点~ が閉じている。

b) 電気で施錠状態にすると、マイクロスイッチのB接点が 開き、変わってA接点が閉じる。

非常解錠確認

a)非常解錠押釦を押すと錠ケース内のマイクロスイッチの A接点が閉じる。 一

点灯・ブザーと結んで ロッドバーの出入状態が 遠隔所で判る。

点灯・ブザーと結んで 施・解錠の状態が 遠隔所で判る。

点灯・ブザーと結んで 非常解錠されたことが 遠隔所で判る。

お願い

取説番号 838H1421

●錠前の動作や操作が正常でない場合には、以下の確認を行ってください。

●正常にならない場合は、最寄りの当社営業所へご連絡ください。

電気錠ALGR(E)のチェックリスト

1. 電気錠の取付け等(建具工事)に関するチェック(各取付ねじは、しっかり締め付けてください。)

チェック 項目	結 果	備考
●設計仕様がALGR(E)となっているか。又、電気錠はALGRか。		
●扉の状態は正常か。 (1)扉のねじれ・ゆがみ等がないか。 (2)扉の反発がないか。 (3)錠前側の縦チリは 6 mm以内か。		
●錠ケースの取付け状態は良好か。 (1)フロントが扉面に正しく納まっているか。		
●シリンダー・サムターンの取付け状態は良好か。 (1)MIWAマークが上になっているか。 (2)ガタツキがないか。		
●レバーハンドルの取付け状態は良好か。 (1)ガタツキ・ゆるみがないか。 (2)動きがスムーズか。		
●非常解錠装置の取付け状態は良好か。(ALGREのみ) (1)ガタツキ・ゆるみはないか。 (2) 非常装置取付側のみ、異物混入防止シールをはがしたか。		
●ストライクの取付け状態は良好か。 (1)取付方向は正しいか。 (2)デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下・前後。		
●ロッドバー・上部受・下部受の取付け状態は良好か。 (1)ロッドバーの向き、上部受・下部受のローラーの向きは正しいか。		
●通電金具の取付け状態は良好か。 (1)通電金具と丁番の軸芯があっているか。 (2)通電金具が扉反発の原因となっていないか。		
●扉内の結線は正しくなされているか。 (1)電気錠と通電金具の間の結線は結線図どおりなされているか。 (2)コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 (3)断線はないか。		
●扉を開けた状態での電気錠の動作チェック。 (1)レバーハンドルは固定されているか。		
●扉を閉じた状態での電気錠の動作チェック。 (1)扉を閉めレバーハンドルを回せるか。 (2)サムターン(またはキー)をフロント側に約30°回せるか。 (3)サムターン(またはキー)を吊元側に約30°回せるか。 (4)レバーハンドルを回して、デッドボルト・ロッドバーを引っ込め扉が開けられるか。		

2. 操作盤の動作及び結線(電気工事)等に関するチェック

●操作盤はALGR(E)(通電時施錠型)用か。	
●結線は正しくなされているか。 (1)操作盤と通電金具の間の結線は、結線図通りなされているか。 (2)コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 (3)断線はないか。 (4)配線は、操作盤とALGR(E)の間の距離に見合う太さの線を使用しているか。 (0.3 mm² 単位で90 mまで)	
●電源を投入すると電源ランプは点灯するか。	
●扉を閉じた状態で、 (1)レバーハンドルを回しきるとロッドバー突出ランプが点灯するか。	
●施錠釦を押したときの動作は良好か。 (1)施錠ランプが点灯する(または、解錠ランプが消灯する)か。 (2)レバーハンドルが固定されて回らなくなるか。	
●解錠釦を押したときの動作は良好か。 (1)解錠ランプが点灯する(又は、施錠ランプが消灯する)か。 (2)レバーハンドルを回してデッドボルト・ロッドバーを引っ込め扉が開けられるか。 (3)その時、ロッドバー突出ランプが消灯するか。	